

# 公益信託ヤマハ発動機国際友好基金 2020年度海外派遣日本人留学生 学内募集要項

## 1. 概要

公益信託ヤマハ発動機国際友好基金（以下「基金」）は、奨学事業を通して、我が国と諸外国との国際理解と友好親善の促進に寄与することを目的として、大学公認の交換留学生を対象に奨学生募集を行う。

## 2. 募集人員

基金募集要項の【2. 募集人員】を参照。

## 3. 支給対象期間

基金募集要項の【3. 支給額・支給期間】を参照。

## 4. 支給内容

基金募集要項の【3. 支給額・支給期間】を参照。

## 5. 応募資格

基金募集要項の【1. 応募者資格】を参照。

※留学期間を通じて、本学理工学系の大学院修士課程・博士課程に在籍していること。

※大学の交換留学制度に採用された者とあるが、全学学生交流覚書だけでなく、部局間学生交流覚書に基づく交換留学も対象となる。

※単位取得が目的でない語学留学や3ヶ月以内の超短期留学は、基金募集要項の【1. 応募者資格】でいう留学には該当しない。

※留学のための貸与型奨学金は、基金募集要項の【1. 応募者資格（4）】でいう他の奨学金に該当する。

## 6. 応募書類

### 【応募時の提出書類】

- ① 願書（所定様式）
- ② 大学院在籍証明書（申請時に学部生の者は、大学院合格通知書の写し）
- ③ 大学入学後全学期分の成績証明書（和文）
- ④ 推薦書（所定様式）

※推薦書下部の「学長（又はこれに準ずる者）」の署名欄は現に所属する部局長とする。

※「奨学生関係窓口（選考結果等送付先）」欄は空欄のままとする。

- ⑤ 研究テーマ（所定様式）
- ⑥ 派遣先大学の受入許可書写し  
※応募時に既に入手していれば提出すること。採用の内定者は入手後速やかに提出すること。
- ⑦ 語学試験のスコア票写し（ウェブでのスコア確認ページでも可）
- ⑧ 成績評価係数計算表（所定様式）

※様式①・④・⑤・⑧については、下記の本学当該奨学生募集ホームページからダウンロードすること。

<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/scholarship/yamaha.html>

## 7. 応募締切

現在所属する学部・研究科・教育部（以下「所属部局」）により異なるので、所属部局の担当部署に各自確認すること。

※基金募集要項の【5. 応募受付期間】に記載されている基金締切日とは異なるので注意すること。

## 8. 応募方法

(1) 上記「6. 応募書類」に記載の応募書類一式を紙媒体で、所属部局の応募締切日までに、所属部局の担当部署へ提出すること。

(2) 応募書類のうち、⑧成績評価係数計算表（Excel ファイル）については、所属部局の応募締切日までに、所属部局の担当部署宛にメール添付でも送付すること。

## 9. 選考

基金募集要項の【6. 面接・選考・通知】を参照。

※学内審査により基金への推薦学生を決定する。

## 10. 留意事項

(1) 留学先大学において授業科目を履修し、単位を取得した場合、その単位が本学での単位として認定されるかの可否等については、留学時の所属部局担当部署にて事前に相談すること。

(2) 一般的な留学のための情報や危機管理等については、「東京大学 海外留学情報」（下記12. 関連ホームページ）を参照すること。また、渡航期間をカバーする海外旅行傷害保険等に各自必ず加入して渡航すること。

(3) 紙媒体で提出の書類は、記述内容が所定の枠内・ページ内に収まっていることを確認の上で提出すること。奨学生願書は自筆記入であるため、第三者が見ても判読可能なように丁寧に記入すること。

(4) 願書1枚目の「②大学院について」欄は、申請時に大学院生である場合は、申請時の所属・学年・専攻を記入の上、「申請時の在籍」欄の「1. 上記大学院」に丸を付けること。申請時に学部生である場合は、留学時の所属・学年・専攻を記入の上、「申請時の在籍」欄の「2.」に丸を付け、申請時の在籍大学名・学部名を記入すること。

## 11. 注意事項

基金募集要項の【4. 応募方法】を参照。

## 12. 関連ホームページ

東京大学 海外留学情報ホームページ：<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/>

## 13. 問い合わせ先

(1) 申請の手続きに関すること：申請時の所属部局の担当部署

(2) 単位認定等、学務関係の事項：留学時の所属部局の担当部署

(3) その他の事項：教育・学生支援部国際支援課奨学チーム ([int.sch.out.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp](mailto:int.sch.out.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp))